

# 議 事 録

団体名称と責任者氏名

印

会議の名称	第一回化粧品支部総会	開催年月日	平成二十八年七月三十日	自	十八
会議の名称	ホテル日航大阪			至	十九
会場の所在地	大阪市中央区西心斎橋一―三―三	出席者		別紙	記載
		出席人数	三〇		
議 事 (一切の経過を含む)					
支部開催趣旨					
近畿大学は卒業生を「四十九万人の人材」として社会に送り出しており、近畿大学性はその人材を利用し就職活動を有利に進めている。卒業生は多種多様な職に就いており、中でも化粧品関係に多くの卒業生が在籍する。					
近畿大学校友会も地域支部、職域支部や専門職支部が多様にあるが、化粧品支部は設立されていない。					
卒業生は化粧品メーカーに多く就職しているが、正確に所在が掴めていない。					
今回、化粧品支部を設立し、化粧品関係会社、香料メーカーに問い合わせを行い、校友会員になって頂き、ただの同業の集いでなく研究開発、製造技術、営業方法の英知を結集することができる。					

昨今の化粧品技術の発展は日本から世界に向けて発信され、大切な学問であり、高校生も大変興味を持っている。しかし、各大学に化粧品を教えているところはなく、この化粧品支部を設置することにより、将来化粧品学部を作る。化粧品支部の増強計画として、化粧品の特許・商標関係、法律関連に詳しい弁護士の方の入会にも力を入れていく。この新たな試みは、近畿大学を世界に向けてアピールすることができ、卒業生の『母校愛』の目覚めに繋がるのではないか。

本日は『母校愛』に目覚めた方が集まり化粧品支部総会を開催したいと思う。

#### ① 支部長挨拶

化粧品支部支部長 亀田宗一から挨拶の言葉

昨年十二月にモアコスメティックス株式会社、東洋ビューティ株式会社、株式会社三香堂の三社二十三名にて設立。目的は近畿大学の持つ知識を世界に向けて発信する。化粧品の技術を集めて、大学のカリキュラムに活かしていける様に活動したい。理工学部に限らず全学部の化粧品関係もしくは化粧品に関する資材・香料関係の企業に勤める方も集めてこれからの活動を行っていききたい。

#### ② 来賓挨拶

近畿大学校友会会長 西村松次に代わり校友会会計 織田隆行様から挨拶の言葉

香粧品支部総会開催に心からお祝い申し上げます。

第一回の総会ということで記録に残る総会になると感じています。第一回の総会に出席させていただきありがとうございます。また、平素は校友会の活動にご尽力賜りまして本当にありがとうございます。

今年の三月に亀岡会長がご勇退され、西村松次先輩が就任されました。これまでの亀岡会長のご功績を汚すことな  
いよう努めてまいりますのでご指導の程よろしくお願い申し上げます。

校友会・近畿大学の近況を申し上げますと、校友総数は五十万人を超え、地域支部、専門職・職域支部は百六十七、  
同窓会は二十と組織として非常に大きくなっています。

校友会の目的は校友会会則第二条、会員相互の親睦を図り大学発展に尽力、第三条、支部の発足・促進とあります。  
関東の方では、茨城、千葉、埼玉、神奈川支部が設けられ、東京支部を中心に活発な活動を行っています。

大学においては東大阪キャンパスは現在も工事中で十一階建ての校舎が2020年東京五輪の年に完成すると聞いて  
います。

近畿大学の英語表記が K i n k i U n i v e r s i t y から K i n d a i U n i v e r s i t y に親しみが持  
てるだろうということで変更されました。

近畿大学は三年連続志願者総数日本一。関西だけでなく東京にも有名な大学が沢山ある中で、これはとても名誉な

ことであると思っております。

大学の目標は「世の役に立つ」、「偏差値では測れない価値・独自性」、「関関同立に追い付け追い越せ」、人気としてはもちろんすでに勝っており、学力も並んでいます。

近大マグロに象徴されるように、大学は研究成果を世の中に出さなければならぬ。

近畿大学は率先してインターネットでのエコ出願をできるようにした、全国どこからでもネットに出願することが出来ようになりました。それから国際学部が春に設立されました。

近畿大学卒業生が羽ばたいていくことは、近大生の勇気になる。

近畿大学を卒業したことに自信と誇りをもって、今与えられている仕事に邁進していただければと思います。

化粧品支部のますますの発展と、皆様のご健勝・ご活躍をお祈りいたしまして私の挨拶とさせていただきます。

### ③ 来賓挨拶

近畿大学校友会前会長 亀岡弘様から挨拶の言葉

化粧品支部総会は昨年十二月に発足し、まだ校友会長をお引き受けしていた時分であり開会総会にも顔を出しました。そして、予想より早く半年後の本日、第一回総会を行うと連絡をもらい、参った次第です。

校友会については織田先輩が詳しくお話されますので、大学の話はもう十分と思います。

近畿大学はもうすぐ百周年を迎えることを話さなければならぬ。校友会がそのことを広め協力しなければならぬと思います。私たちはその百周年に大いに協力していこうじゃないですか。

オリンピックの年には新しい校舎が完成に、近畿大学は生まれ変わったような新しいキャンパスになる。今年四月から国際学部が新しい校舎に入っています。

校友会では、全国経済産業リーダーズクラブにおいて関西地区の新卒業生歓迎会を行い、百二十名ほどの新卒業生が集まったかと思えます。その場には八十歳で通信教育を卒業し今年度四月からも新たに学部に入籍したという素晴らしい卒業生の方がおられました。その方は大学を出るのは勉学を学び知識を広めたいからと言われていました。

これからは高齢化社会、私も今年八十七歳で、声は大きいですが手を突かなければ腰が曲がってくる。しかし、歳のせいにはせずに若い皆さん方と一緒に頑張っていきたい。

今日出席している方々には、私の研究室を出た方もたくさんいる。皆様は大島幹事長がお話されたように国際的に化粧品を広めていきたい、そして、近畿大学の名前を轟かせたいと思っっているはずだ。

Kinki Universityは外国では恥をかく、Kindai Universityとするのはどうかという声もあつたが外国に出て笑われないように二年程前から決め、今年四月から変更になった。

私の話はこの辺にして終わりたいと思います。

④活動報告

本会は化粧品メーカーのみ三社、二十三名で会員を募り十二月に設立総会を行った。本日までの半年間のうちに三回の打合せを行い、会員の増員に向けて活動してきた。その結果、新たに一〇名の新会員を獲得するに至った。これからもう少し活動計画を進め会員の増強をどんどんやっていきたいと思っている。

⑤活動計画

化粧品支部の増強計画として、化粧品の特許・商標関係、法律関連に詳しい弁護士の方の入会にも力を入れていきたい。化粧品工場の建築、経理、営業など化粧品にまつわる職種全般が集まり、各々の得意分野での講演会を催し、社会に貢献するなど、化粧品の一つの学問とする役に立つようにしていきたい。

近畿大学の一〇〇周年に向けて寄付等で盛り上げていきたいと考えている。

来年に化粧品支部総会があるが、この1年間こういう活動方針を持って会員を増員していきたいと思っている。

⑥会計監査報告

化粧品支部収支報告から本年7月22日に会計監査を行った結果適正であったと報告。

⑦質疑応答

質問者なし。

⑧ 記念撮影

出席者による記念撮影を行い、本会の記録とした。

以上